

ごあいさつ

本市は、利根川や荒川などの水辺と仙元山や鐘撞堂山などの豊かな緑に囲まれた、自然に恵まれている環境にあります。この恵まれた環境を保全し、次の世代に引き継ぐため、深谷市における環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを定める「深谷市環境基本計画」を平成30（2018）年3月に策定しました。

近年、本市を取り巻く社会状況は大きく変化しており、地球温暖化が原因と考えられる猛暑や豪雨、大規模火災などの気候変動による災害が世界規模で発生し、私たちの生活環境や生命、財産まで脅かす気候危機というべき深刻な状況となっています。

本市は、地球温暖化問題や気候変動問題を喫緊の課題と受け止め、本市の未来、世界の未来を守るため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す『ゼロカーボンシティふかや』を令和3（2021）年1月26日に宣言いたしました。

この度、宣言の実現に向けての第一歩として、前計画の計画期間中ですが、前計画にある「低炭素社会の実現」から、さらに一歩進んだ「脱炭素社会の実現」を目指し、「深谷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」、「深谷市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」、「深谷市気候変動適応計画」を包含する新たな「深谷市環境基本計画」を策定しました。

脱炭素社会実現に向けての取組は、郷土の偉人渋沢栄一翁がその人生を通して体現した「公益のために生きる」に通じております。そして、栄一翁の理念との親和性が高く持続可能な社会づくりの目標であるSDGsの理念に基づき、第2次深谷市総合計画後期基本計画に掲げる「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」を実現すべく「安心とやすらぎを感じられるまち～市民が住みやすく地球環境がまもられるまち～」を目指して、市民、事業者及び行政が連携・協働を図り、各施策の着実な実施に努めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、環境に関するアンケート等に御協力いただき、貴重な御意見と御提言をお寄せいただきました市民及び事業者の皆さまをはじめ、多大な御尽力をいただきました環境審議委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

今後とも、計画推進に対し、より一層の御理解御協力をお願いいたします。

令和5（2023）年3月
深谷市長

小島 進



目次

第1章 計画の基本的な考え方	1
1 計画策定の背景	1
2 計画の位置付け	3
3 計画の期間	4
4 計画の対象の範囲	4
5 計画の構成	5
6 計画の実施主体	5
第2章 本市を取り巻く状況	6
1 本市の自然条件・社会条件	6
2 国内外の社会経済情勢等の変化	14
第3章 目指すべき環境のすがた	22
第4章 目標実現のための施策	26
第5章 計画の推進・進行管理	82
1 各主体の役割	82
2 市と各主体との連携	83
3 計画の進行管理	83
資料編	1
1 計画の策定経過	1
2 深谷市環境審議会名簿	1
3 条例等	2
4 アンケート調査結果	8
5 世界と国の動向	85
6 用語集	89